

古河市への転入者が増加中！ ～企業誘致と定住促進が実を結び始めています～

人口減少が進む現在、全国平均よりも早く人口が減り続けていた古河市。さまざまな支援を継続してきた結果、市外からの転入者が転出者を上回り、取り組みの成果が現れてきました。現在の市の状況と支援策を紹介します。

【問】企業誘致・定住促進室(古河庁舎) ☎22-5111

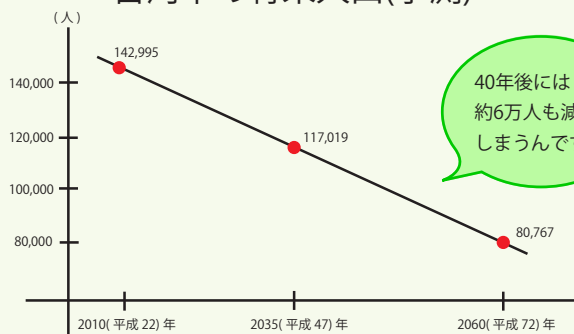
既に人口減少時代に突入した古河市

古河市では、平成17年(合併時)の約14万5,000人から毎年少しずつですが、人口減少が進んでいます。

現在(平成29年5月末)の人口と比較すると、約5,000人も減少しており、このまま人口減少が進むと約40年後には8万人になると予測されています。

※常住人口で記載しているため、住民基本台帳人口とは異なります。

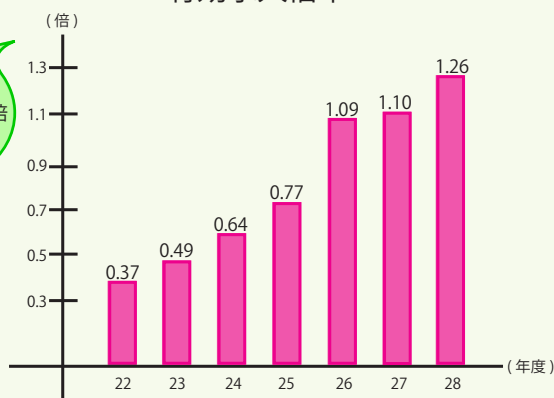
古河市の将来人口(予測)



資料：国勢調査(総務省)および「日本の市町村別将来人口推計人口」国立社会保障・人口問題研究所より

40年後には約6万人も減ってしまうんですね

古河公共職業安定所管内有効求人倍率



平成22年度から約3.4倍も有効求人倍率が増えてますね

深刻な労働者不足

近年は人口減少の影響もあり、全国的に求人数が求職者数を上回っていて、労働者にとって多くの選択肢がある状況になっています。

古河公共職業安定所においても、有効求人倍率が全国や県平均を上回っており、深刻な労働者不足に陥っています。そのため、生産年齢人口を増やす取り組みが早急に求められています。

有効求人倍率：求人数／仕事をしたい人の数
生産年齢人口：15歳以上65歳未満の人口

平成28年度は転入人口が上回る

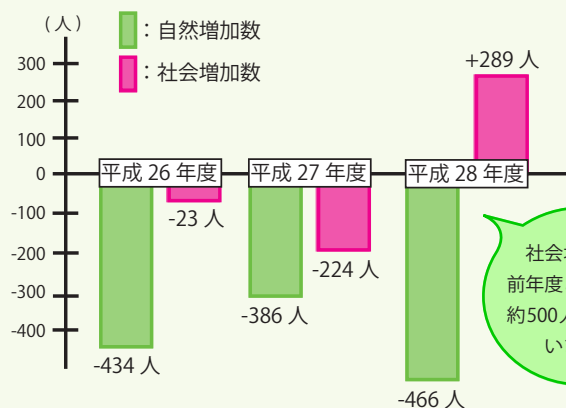
古河市の人口減少の要因の一つとして、若者層を中心とした、東京など都市部への転出(人口流出)が多いことが考えられます。

近年では、高校・大学を卒業する年代が男女ともに大幅な転出超過となっていることから、転入者を呼び込む施策を継続的に行ってきました。

その結果、平成28年度は転入超過となり、人口減少に歯止めがかかる兆しが見えてきました。

自然増加数＝出生者数－死亡者数
社会増加数＝転入者数－転出者数

古河市の人口増減



社会増加数は前年度と比べると約500人も増えてますね

資料：茨城県の人口と世帯(推計)月報